

各地域の状況

っていたでしょうか。

災害用伝言ダイヤル
局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。

録音する場合
171 → 1 → 被災地の方の連絡先電話番号

再生する場合
171 → 2 → 被災地の方の連絡先電話番号

録音時間 : 1伝言 30秒以内
伝言蓄積数 : 最大 10件
保存期間 : 48時間

おつと地震や津波の情報にすぐ気づくように スマホの音声をいつもより大きくしておこう

「カチカチ」

はい

災害時は普通の電話はつながりにくくなっちゃうの
避難時の連絡手段も覚えておいてね

災害時は普通の電話がつながりにくくなる！

備蓄品のリストも確認しておいたほうがいいわね

- 飲料水 (1人1日 3L程度)
- 非常食 (アルファ化米※、ビスケット、チョコ、乾パン、缶詰、レトルトカレー、ドライフルーツ等) を3日分
- トイレトペーパー、ティッシュペーパー
- マッチ、ろうそく
- カセットコンロ・ボンベ (1人1日 1本弱程度)
- 懐中電灯
- 電池
- 携帯ラジオ
- 生活用のポリタンクに入れた水
- 簡易トイレ

火元の確認、コンロ、ストーブの周りに物を置かない。

火は怖いぞ

次々重要なのは火元まわりの確認だ

消火器を 使いやすい場所に置いておく。

使用しないときの 電気機器の プラグを抜く。

鉄鎖等で 二重かけ

水平な土台

住宅用火災警報器の電池の確認 (ボタンを押す、ひもを引くことで正常であれば警報音が鳴る)

プロパンガスのボンベが 転倒しないよう固定する。

※お湯 (水) で軟らかくなるお米

先発地震の影響：大 (震度5弱以上) (大津波警報、津波警報)

このマンガの震源

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域

- 大津波警報・津波警報に伴い、沿岸域の住民に対し、市町村から避難指示が発令される
- 建築物に損壊が発生
- コンクリート塀、自動販売機等の転倒
- 屋内の家具等が転倒
- 斜面等で落石やがけ崩れ等が発生
- 必要に応じて避難所が開設され、住民が避難

避難所

緊急 ID カード
現金
箱やプザーなど
身分証明書 (コピーでも可)
常備薬・お薬手帳

北海道・三陸沖後発地震注意情報発表後の対応

通常の生活を送りながら、次の地震に向けた備えを再度確認しましょう。

地震時に迅速な避難が必要な場合

揺れを感じたり、津波警報等が発表されたりした場合に、直ちに津波から避難できる態勢の準備

すぐに避難できる態勢での就寝

- すぐに逃げられる服装で就寝
- 子どもや高齢者等、要配慮者と同室で就寝
- 室内で最も安全かつ避難しやすい部屋の使用



非常持出品の常時携帯

- 準備しておいた非常持出品を日中は常時携帯、就寝時は枕元に置く
- 身分証明書や貴重品を常時携帯
- 防寒具等、積雪寒冷に備えた装備を手元に置く

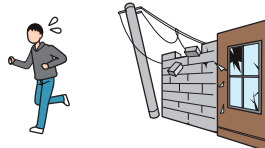


地震によるリスクの高い場所がある場合

想定されるリスクからの身の安全を確保する備え

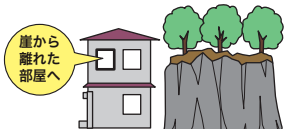
揺れによる倒壊への備え

- 先発地震で損壊した建物や崩れやすいブロック塀等にはできるだけ近づかない



土砂災害等への注意

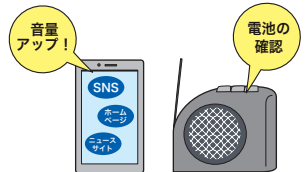
- 先発地震により、土砂崩れの危険性が高まっている場所にはできるだけ近づかない
- 崖崩れの恐れがある家では、崖に近い部屋での就寝を控える
- 地震発生後の津波からの避難が困難な地域に立ち入る際は、そのようなリスクのある区域であることを意識して、いつでも避難できるようにする



後発地震に注意し、誰もが実施すべき備え

緊急情報の取得体制の確保

- 携帯電話等の緊急情報を取得できる端末の音量を平時よりも上げておく
- ラジオや防災行政無線の受信機等を日頃生活する空間に配置



日頃からの備えの再確認

- 水や食料等の備蓄の再確認
- 避難場所・避難経路等の再確認
- 家族との連絡手段の再確認
- 家具の固定の再確認
- 自治会単位での訓練等での再確認等



最後に

北海道・三陸沖後発地震注意情報は、必ず大きな地震が発生するというものではなく、これまで以上に発生する可能性が高まっているという情報です。そのため、正しく情報を理解し、適切に備えることが重要です。情報発信時に地震が起らなかった場合でも、「空振り」と捉えるのではなく、防災訓練や防災意識の向上につなげる予行演習としての「素振り」と捉えましょう。

日本海溝・千島海溝沿いでは、大規模地震発生が指摘されており、いつ地震がきても不思議ではありません。また、地震発生後、時間差で巨大地震が起こるおそれもあります。

あなたと大切な人の命を守るとともに、社会が混乱しないように、来る地震への備えについて、日頃から考えておくことが大切です。まずは高いところに物を置かないなど、できることから始めましょう。

マンガは表紙から読もう!

貴重品

- 緊急IDカード
- 現金
- 銀行の口座番号や生命保険契約番号の控え
- 健康保険証 (コピーでも可)
- 身分証明書 (コピーでも可)
- 母子健康手帳

まず入れておくもの

- 予備マスク
- モバイルバッテリー
- 非常食・飲料水
- 軍手あるいは革製手袋
- 救急セット
- ビニール袋
- アルミ製保温シート
- 毛布やシート、タオル等
- 笛やブザーなど

入れたほうがいいもの

- ウエットティッシュ
- 予備の電池
- 懐中電灯
- レインコートや雨具
- 携帯ラジオ
- 歯ブラシ
- 給水袋
- 使い捨てカイロ
- 上履き
- 下着・着替え

人によって必要なもの

- 予備のメガネ
- 生理用品
- おむつ (乳幼児・高齢者用)
- 常備薬・お薬手帳

非常持出品も家族構成や季節によって入れ替えたほうがいい

パジャマ予備のメガネも入れたいわ。

オムツは必要なのかな?

非常持出品の常時携帯

- 緊急IDカード
- 現金
- 身分証明書 (コピーでも可)
- 常備薬・お薬手帳
- 笛やブザーなど

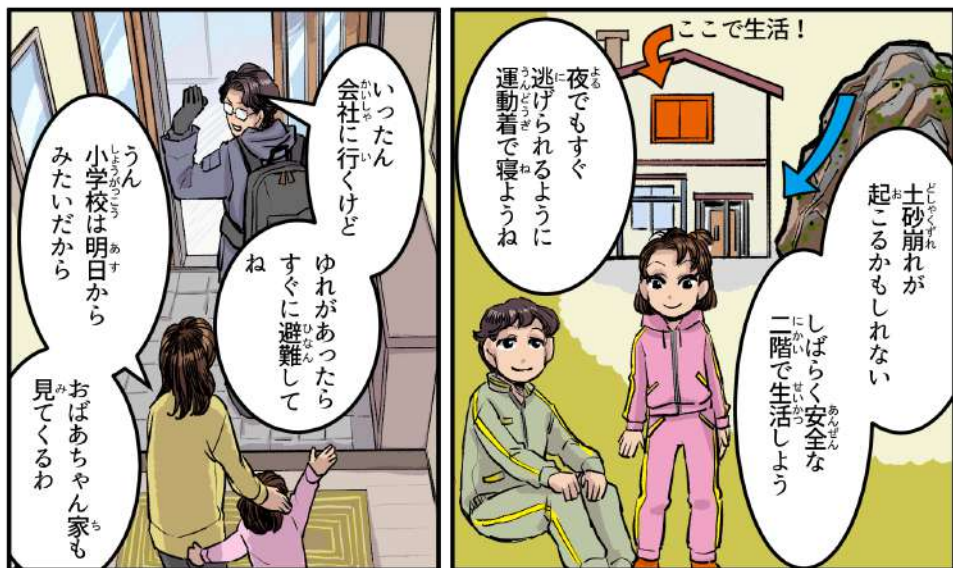
すぐに避難できる準備

寝るときは枕元に非常持出品やヘルメット

はきなれた靴や吹雪に備えて上着も用意しておこうね

常時携帯用のポーチも便利よ

小さいから会社にも持っていけるね

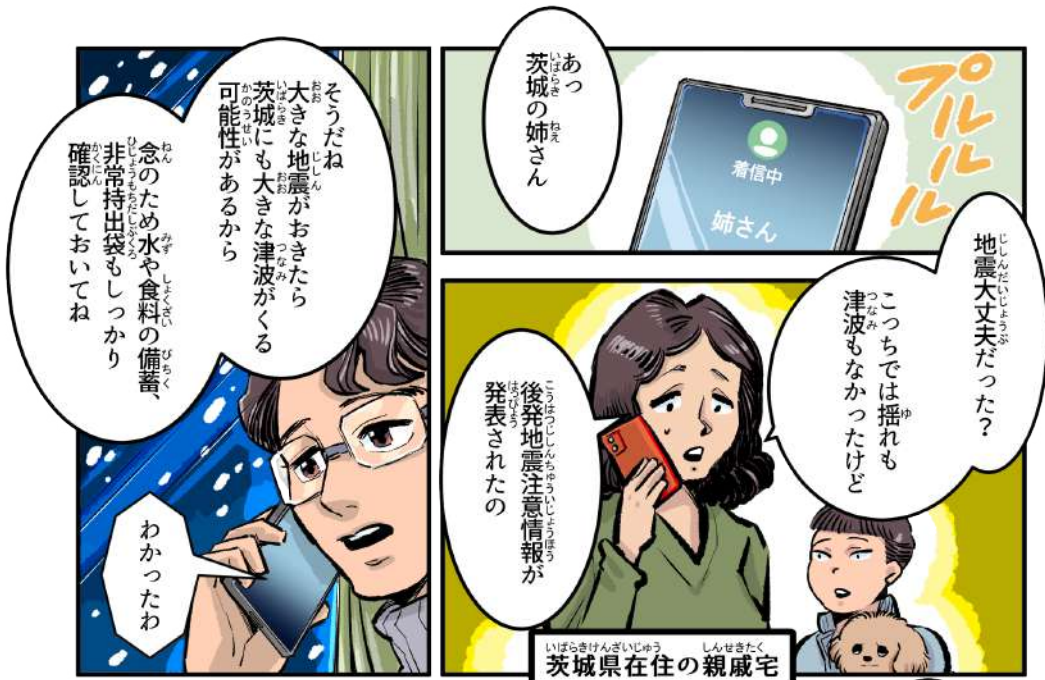


このあと、震度6弱のゆれがこの地域を襲い、地震に伴う津波で千島家の自宅は流されてしまいました。しかし、北海道・三陸沖後発地震注意情報を受け、千島家は地震の発生時にすぐに避難できるよう準備をしていたため、全員津波の到達前に避難することができました。

ただし、情報の発表があっても必ず巨大地震が起こるわけではなく、また情報の発表がないまま巨大地震が起こることも十分あり得ます。地震がいつ起こってもよいように日頃から地震に備えることが重要です。

👉 裏表紙から詳しい内容を見ましょう

解説は裏表紙から読もう！



? ビーシービー B C P (事業継続計画) とは？

災害が発生しても、可能な限り短い期間で復旧させるための手順等を示した計画のこと。

Business (ビジネス)
Continuity (コンテニューイティ)
Plan (プラン)

